

第30回 甕っ子芸術祭典

里地区コミ協だより



里幼稚園訪問中のおすび座

五月二十八日(月)午後七時から、上記の催しがありました。地域の皆様のお力添えを頂きながら、毎年開催されています。

始まりは、一九八八年。すでに三十回目で、保護者のなかには、自分も子どもの頃参加したという人もいます。

今年は、人形劇団むすび座による「おさんぼ劇場」から、「ヤンチャメツチャブー」「こぎつねコンとこだぬきボ」の二本でした。

嘘と本当の世界を、行き来で



子ども達のこの集中力！

きる演劇の空間は、楽しみながら、周囲の人の反応をしっかりと観察できる空間。その空間で子どもはバランス感覚や自己コントロールの力を、自然に身につけることができます。といわれています。現代社会を生きていく子ども達には必須の力ですね。子ども達の笑い声を聞いていると、大人も元気になってきます。

実行委員会の皆さんも、応援してください。地域の皆さんも、毎年、ありがとうございます。

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958

お知らせ

第4期地域振興計画の作成

薩摩川内市は、十年に一度、総合振興計画を作成しています。そして、その期間の五年ごとに、前期後期と分けて見直しをしています。その時に、各コミ協は、地域の振興計画書を市に提出することになっていきます。各地域の振興計画を得て、それを市の振興計画に反映させるためです。

地域で提出する計画書は、地域の住民自らが計画し、自分達で実現していく地域の振興計画書です。今年は、第4期の平成三十一年から三十五年までの振興計画をたてる年になります。部会ごとに話し合い、部会長を中心に、代議員の皆さんで作成することができるよう、市からも作成支援員を配置してもらっています。そうして作成した計画書は、次年度の総会に賛同・承認をして頂いて後、市に提出することになっています。

みなんで里のあり方を検討します。実効性や実現性のある計画を、自己決定、自己責任、自己実現、の、住民自治力を発揮して作成していきます。代議員でなくてもご意見がある方は、ぜひ、里地区コミ協まで、お知らせください。

だいはんにゃはらみったきよう

里八幡神社の大般若波羅密多經

里八幡神社所有の大般若經全六百巻が、この度、県の有形文化財に指定されました。この般若經は折り本で十巻毎にチツに入れられ番号が表示されており、八幡神社に寄進されたのは一六八八年。

三百余年もの間、廃仏毀釈を逃れ、そのまま全巻が奇跡的に残存し、保存状態も良く、貴重な資料という評価だったようです。現在、薩摩川内市の歴史資料館に寄託しています。伝承を大切にする里町の、宝ですね。